【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：　2023 年　4 月　14 日

1．事業概要

（1）実行団体名：一般社団法人ちくだい KIP
（2）事業名　：　多様な「ひとのつながり」でレジリエントな子どもを育成する次世代型ヘルスケア体操コミュニティの構築
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：一般社団法人 北海道総合研究調査会（HIT）

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☐ 全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☑　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 単純に失念しておりました。のち、業者に依頼をかけているのですが、実行までに時間がかかっているようです。２０２３年５月末までにはアップする予定です。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ □ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 ウェブサイトへの規定類の掲載を失念しており未掲載ですが、２０２３年５月末までにアップする予定です。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。

（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☑ 外部監査 ／☐ 内部監査 ／ ☐ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 会計担当：村田奈美、会計士：スズカ税理士法人
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☐ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	ラジオ FM-Jaga「体操大好き」にて毎月情報発信中。
広報制作物等	有	教室内に設置した自作パンフレット
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

ガバナンス整備については、必要とは思っていても今回のような強制力がなければできなかったと思っている。法人として今後事業を展開・スケールしようとする中で、絶対的に必要なことであると理解できた。また、コロナ禍でいわゆる VUCA 時代に直面し、人の心が大きく揺れる状態が長く続くことで社内にもその影響が出ていたと思う。不確定要素が多く、スタッフ各々の精神的なバランスが崩れていたところに対して、スタッフが一人辞職したことは大きな痛手であった。本人としては常に頭にあった夢のためにという言い分ではあるが、それを凌駕する未来図を我が社が描かせてあげられなかったとも言える。

それでもなお、この休眠預金助成で我々は大きく前進したのは間違いない。伴走によって得られた人間関係は、今後も継続していく様相であるし、「金の切れ目が縁の切れ目」ではなかった。献身的なサポートにより事業を継続する自信が持てた気がする。心より感謝申し上げます。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

1. 子ども向け体操教室と大人向け筋力トレーニング教室が同時開催され、大人の参加者は徐々に子どもに目を向けるようになった。

2. ファミリージムコースに参加する母親が教室参加幼児の弟を大人向け筋力トレーニング教室参加者に預ける様子。

3. KIP チャレンジ 2023 は 3 年ぶりの帯広畜産大学（本拠地）開催であり、大いに盛り上

がった（総参加者数 400 名）。

4. 出口戦略につながった中札内村でのヘルスケアプロジェクトでは、多くの参加者が来場した。

5. この日最後の参加となった高齢参加者は、本当は辞めたくないが体調の悪化が迷惑になると感じ、辞めることを決意した。このコミュニティが「暮らし」と結びついていればこんな別れをさせることはなかった。